

医療従事者の負担軽減及び処遇の改善に資する計画(令和7年度)

医療従事者の勤務状況

- 1 職員数 現員 1,218名(令和7年3月現在)
- 2 開放病床20床 利用率 0.0%(令和5年度)
- 3 月平均時間外勤務(令和5年度) 11.57時間
- 4 育児短時間利用者 13人(令和7年1月現在)
- 5 部分休利用者 58人(令和7年1月現在)

これまでの取り組み及び今後の目標

当院では、これまででも外部委託やタスク・シフト等により職員の負担軽減を図ってきたところであるが、高齢患者の増加に伴う対応の複雑化や救急搬送件数の増加等のほか、令和6年4月から医師の働き方改革が本格的に施行されたことにより、職員の負担軽減が一層重要な課題となっている。こうしたことから、さらにタスク・シフトや外部委託を進めるとともに、新たな経営強化プラン推進のために必要となる医療従事者の人数を確実に確保していくことが必要である。

項目	令和6年度までの取組	現状	令和7年度の目標	達成状況	目標達成のために必要な項目
職員の増員	病院経営強化プランに基づく職員の増員のため選考試験を実施	R6.5改定の経営強化プランを推進するためR6年度からの3か年で必要な増員を行うこととし、R6.6定数条例を改定	職員増員のため、採用計画に従って競争試験、選考試験を実施し必要な職員数を確保する。	プランに基づく増員のため選考採用を実施した。R9年度までに必要な増員を完了する見込み。	病院見学会の実施等
勤務時間の縮小	医師労働時間短縮計画の策定	計画に掲げる目標を達成するため、各部門において取り組みを推進	医師労働時間短縮計画に掲げる目標の達成	目標未達成(一部にB水準該当の医師有り) 病院全体では職員1人あたり対R6比▲0.65時間/月(4~12月)	・タイムリフォーマーによる勤務時間の管理 ・長時間超過勤務医師に対する面接指導の実施等
適正な労働時間の確保	ICU、ECU、HCU、麻酔科の宿日直許可の取得	当直業務を実施している病棟(ICU、ECU、HCU、麻酔科、NICU)について宿直許可を申請	許可に基づいた適切な宿日直の実施	宿日直を実施する全ての診療科・病棟、部門について許可を取得	宿日直実施状況の確認
	許可された内容に基づき宿日直業務を実施。	同左	許可に基づいた適切な宿日直の実施	宿日直業務を適切に実施	宿日直実施状況の確認
業務分担の促進	令和6年4月に特定行為研修研修施設として認定救急パッケージを3名が受講	特定行為研修施設認定に向けた準備	タスクシフトの推進に必要な人材の育成	特定行為研修7名受講済み	手順書の整備
	複数主治医制の導入を推進	院内待機を縮減し、オンコールでの対応を増やす	単独主治医制から複数主治医制への移行	一部診療科(病棟)で実施済み	それぞれの診療科内で引き続き検討
	薬剤師による服薬指導のため薬剤師を増員	医師が一部薬剤指導を行っているが、薬剤師を増員し、入院患者に対する管理指導業務の充実を図る	薬剤師による服薬指導を推進するため、薬剤師の増員を図る	病院経営強化プランに基づく増員のため選考採用を実施。R9年度までに必要な増員完了を目指す。	引き続き薬剤師の増員を図る
地域の他の医療機関との連携体制	平カー、バンピカーでの転院実施	通称「平カー」「バンピカー」を活用して、回復期の転院を円滑に実施	運用計画に基づき、円滑な転院を実施	救急車型ドクターカー 出勤実績(R8年度2月まで) ・平カー 134件 ・バンピカー 12件	受け入れ病院との調整 必要に応じて運用計画を改定
最新機器の導入・活用	最新機器(ダヴィンチ)の導入	手術時の負担軽減のため、手術支援ロボットを運用	手術支援ロボットの運用により、医師の負担軽減を図る	・ダヴィンチによる手術件数(4月~2月) 432件	手術支援ロボットの運用
院内保育所の設置	夜間保育の試行(R6.10)	夜間保育実施に向けた検討	夜間保育実施に向けた準備	R8年8月より他園通園児の夜間保育を開始	院内のニーズ把握、実施体制の整備